

令和2年度 子宮頸がん検診の実施結果概要

※平成16年4月末より、がん検診の指針が「30歳以上逐年検診」から「20歳以上隔年検診」へ改正。
 ※平成20年度より、対象者数の把握方法を推計対象者による算出に変更。
 推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数) 人口は平成27年国勢調査結果利用
 ※受診率＝(当該年度受診者+前年度受診者－2年連続受診者)÷対象者数 により算出。
 ※受診者数及び受診率については、20～69歳を対象とした数値である。下段に20歳以上を対象とした数値を参考値として記載。
 また、それ以外は20歳以上を対象とした数値である。
 ※檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村は、平成27年国勢調査による市町村人口が公表されていないため7町村については、以下の数値を用いている。

①「総人口(4月1日現在)」は、令和2年4月1日現在の推計人口(県統計課作成)による
 ②「対象者数」は、平成22年国勢調査の人口を用いて算出したものである

1 受診者及び受診率(20～69歳)

(表1)部別

	年齢区分	令和元年度 (a)		令和2年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (ポイント)
子宮頸部	20～69歳	49,196	39.8	44,987	37.6	▲ 4,209	▲ 2.2
	20歳以上 (参考)	63,031	25.2	57,084	24.0	▲ 5,947	▲ 1.2

・子宮頸部がん検診の受診者数は、前年度より4,209名減少した。

(表2)集団・施設検診別(20～69歳、20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	年齢区分	令和元年度 (a)		令和2年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (ポイント)
集団検診	20～69歳	11,402	8.9	9,472	7.8	▲ 1,930	▲ 1.1
	20歳以上 (参考)	16,310	6.2	13,849	5.6	▲ 2,461	▲ 0.6
施設検診	20～69歳	37,794	30.9	35,515	29.8	▲ 2,279	▲ 1.1
	20歳以上 (参考)	46,721	18.9	43,235	18.4	▲ 3,486	▲ 0.5

・20～69歳の集団検診、施設検診ともに、前年度より受診率が減少している。

2 要精検率、精検受診率(20歳以上)

(表3)部別

	令和元年度 (a)		令和2年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (ポイント)	精検受診率 (ポイント)
基準値(%)	許容値 ≤1.4	許容値 ≥70.0 目標値 ≥90.0	許容値 ≤1.4	許容値 ≥70.0 目標値 ≥90.0		
子宮頸部	1.12	87.62	1.19	88.37	0.07	0.75

・要精検率は0.07ポイント増加し、精検受診率は0.75ポイント増加している。

(表4)集団・施設検診別(20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	令和元年度 (a)		令和2年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (ポイント)	精検受診率 (ポイント)
基準値(%)	許容値 ≤1.4	許容値 ≥70.0 目標値 ≥90.0	許容値 ≤1.4	許容値 ≥70.0 目標値 ≥90.0		
集団検診	0.85	89.93	0.90	91.13	0.05	1.20
施設検診	1.21	87.06	1.28	87.75	0.07	0.69

・精検受診率は、集団検診で1.20ポイント増加し、施設検診では0.69ポイント増加している。

3 がん発見数・がん発見率(20歳以上)

(表5)部位別

	令和元年度 (a)		令和2年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (ポイント)
基準値(%)		許容値 ≥0.05		許容値 ≥0.05		
子宮頸部	15	0.02	8	0.01	▲ 7	▲ 0.01

(表6)集団・施設検診別(20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	令和元年度 (a)		令和2年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (ポイント)
基準値(%)		許容値 ≥0.05		許容値 ≥0.05		
集団検診	4	0.02	0	0.00	▲ 4	▲ 0.02
施設検診	11	0.02	8	0.02	▲ 3	0.00

4 陽性反応的中度

(表7)子宮頸部がん検診のみ

	令和元年 (a)	令和2年度 (b)	前年度からの伸び状況 (b-a)
基準値(%)	許容値 ≥4.0	許容値 ≥4.0	
20~69歳	1.65	1.22	▲ 0.43
20歳以上	2.13	1.18	▲ 0.95

5 その他参考(20歳代の受診状況・結果)

・平成16年4月末の指針改正により、20歳以上が検診対象となったため、20歳代の受診状況を以下にまとめる。

(表8)20歳代(20歳~29歳)、子宮頸部がん検診のみ

	平成26年度 (参考)	平成27年度 (参考)	平成28年度 (参考)	平成29年度 (参考)	平成30年度 (参考)	令和元年度 (a)	令和2年度 (b)	前年度からの 伸び状況 (b-a)
受診者数 (人)	6,412	4,489	3,611	3,318	3,261	3,302	3,697	395
受診率 (%)	34.40	31.3	28.9	25.6	24.3	24.0	25.6	1.6
要精検率 (%)	2.6	3.0	3.3	3.2	3.6	3.5	3.7	0.2
精検受診率 (%)	86.8	85.1	90.0	85.0	83.1	82.6	86.9	4.3
がん発見数 (人)	0	0	1	1	0	0	0	0
がん発見率 (%)	0.00	0.00	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00

・受診者数は前年度よりも395人増加した。受診率、要精検率、精検受診率も増加している。

6 精検未受診率、精検未把握率(20歳以上)

(表9)部位別

	令和元年度 (a)				令和2年度 (b)				前年度からの伸び状況 (b-a)	
	精検未受診率 (%)		精検未把握率 (%)		精検未受診率 (%)		精検未把握率 (%)		精検未受診率 (ポイント)	精検未把握率 (ポイント)
基準値(%)	許容値 ≤20.0	目標値 ≤5.0	許容値 ≤10.0	目標値 ≤5.0	許容値 ≤20.0	目標値 ≤5.0	許容値 ≤10.0	目標値 ≤5.0		
子宮頸部	0.28		12.09		0.88		10.75		0.60	▲ 1.34

・精検未受診率は増加し、精検未把握率は減少している。

(表10) 集団・施設検診別(20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	令和元年度 (a)				令和2年度 (b)				前年度からの伸び状況 (b-a)	
	精検未受診率 (%)		精検未把握率 (%)		精検未受診率 (%)		精検未把握率 (%)		精検未受診率 (ポイント)	精検未把握率 (ポイント)
基準値(%)	許容値 ≤20.0	目標値 ≤5.0	許容値 ≤10.0	目標値 ≤5.0	許容値 ≤20.0	目標値 ≤5.0	許容値 ≤10.0	目標値 ≤5.0		
集団検診	0.00		10.07		0.00		8.87		0.00	▲ 1.20
施設検診	0.35		12.59		1.08		11.17		0.73	▲ 1.42

- ・集団、施設検診ともに、精検未把握率が減少している。
- ・集団検診の精検未受診率は、2年連続で0.00%である。